

桃の節句



旧暦の3月ですから桃の花も咲いていたでしょう。でも、子ども達の健やかな成長を願う心が変わりはありません。伊豆半島稲取の吊るし雛祭りは賑やかに行われていました。

展示の中に つるし飾り の三大発祥地として、山形県酒田の『傘福』 福岡県柳川の『さげもん』そして、静岡県稲取の『つるし飾り』と解説されていました。

展示の中に本物の魚の鯛の骨で、鯛の鯛と呼ばれる鯛の形をした、骨がありますが、これを吊るし飾りにして展示してありました。余程大きな鯛から取ったのでしょうか。



展示会場などの室内での撮影は、照明が限られていますから難しいところですね。夫々の会場では展示物が一番映える様に、配置や照明の明るさ、角度を調整しています。

そんな中でいきなりストロボを発光させたりしたら、主催者にお目玉を戴くことにもなります。

入場の時に、『写真撮影をしても良いのか』、『三脚を使用しても良いのか』、『ストロボを使用しても良いのか』、などを確認して撮影させて貰う事は我々アマチュアカメラマンとして最低限必要なマナーですね。

さて、撮影はOKでも、三脚、ストロボの使用は駄目との会場が大半ですね。三脚は他の入場者に迷惑をかける、ストロボは、やはり他の入場者に迷惑をかけるのと、強い光で展示物の劣化を招くなどの理由で禁止されるところが多く見られます。

その場合の撮影は、ISO感度を上げる事と、絞りを開き、シャッター速度を遅くすることになります。

シャッター速度を遅くすると、手振れが生じやすくなります。絞りを開けば被写界深度が浅くなって、ピントの合う範囲が狭くなります。ISO感度を上げれば画面が荒れて、引き延ばすとザラツキ感が生じます。

こんな時は先ず、オートモードで撮影してみましよう。但し、ストロボの発光停止を確認してからにして下さい。一枚撮影してモニターで拡大確認して、良ければそのまま撮影を続けましよう。最近のオートモードは、カメラ内部のコンピューターが高性能化されて、かなりの精度で良い写真が撮れます。

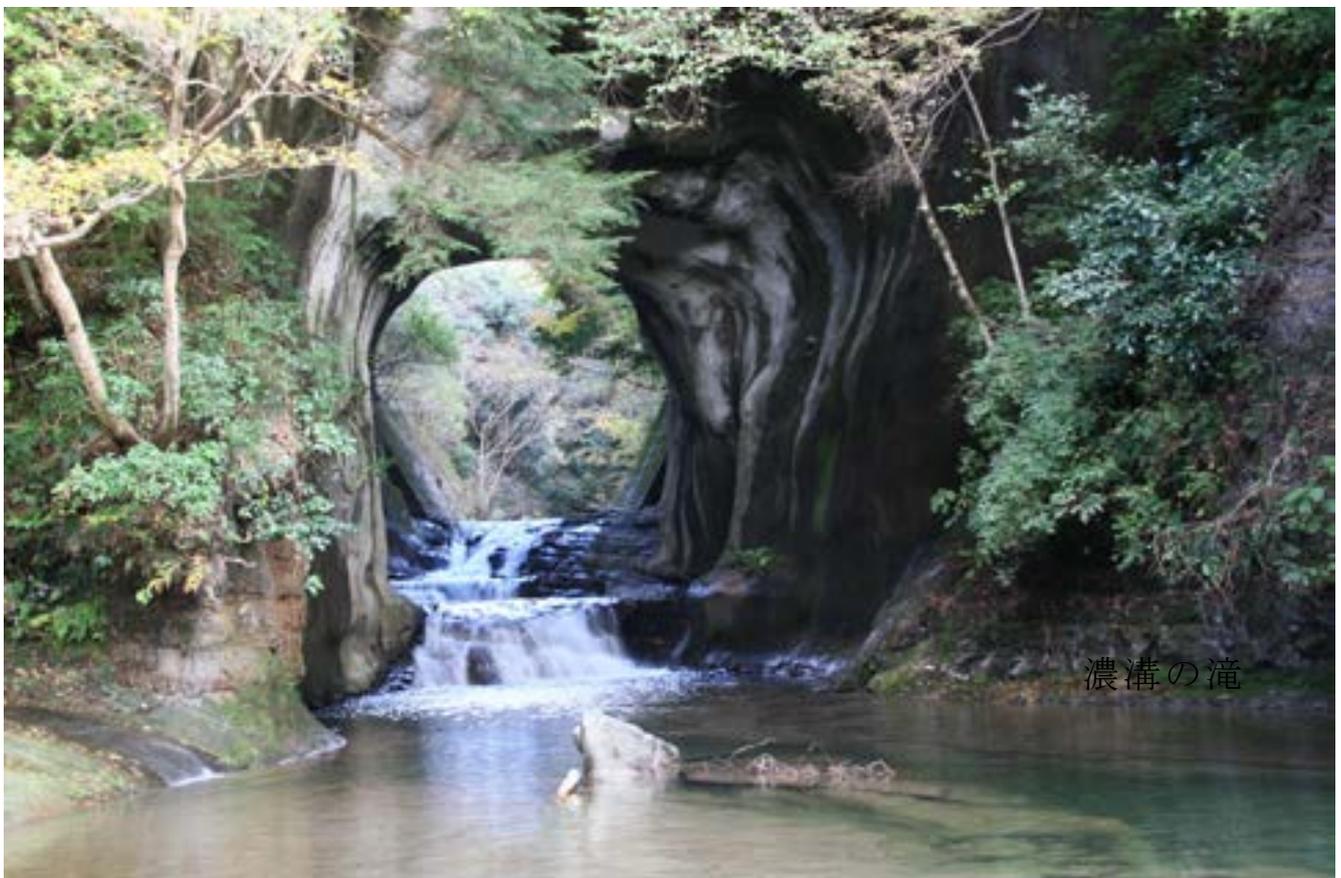
しかし、この部分をアップにしたい、などの時には同じようにオートで撮ることと、シャッター速度優先モードで、自分が自信をもって手振れなく撮れる速度にセットして撮影してみて下さい。例えば20分の1秒程度で撮影してみて手振れが無ければ大丈夫ですね。

次に注意したいのは、ガラスケースの中の撮影です。ガラス面に余分な部分が映り込んでいるので、撮影する位置を少しずつずらしながら映り込みが最小になる位置を選びます。前ページの鯛の鯛の写真はたくさんの鯛の鯛が何本もガラスケースの中に吊るしてありましたので、ガラス面の反射や映り込みが多かったので、バックの黒い部分を選んでクローズアップしました。

こんな事を頭の片隅に置きながら、撮影を楽しんで下さい。

別府 30-02月ページ

江差海岸



濃溝の滝

濃溝の滝

佐藤重信のページ

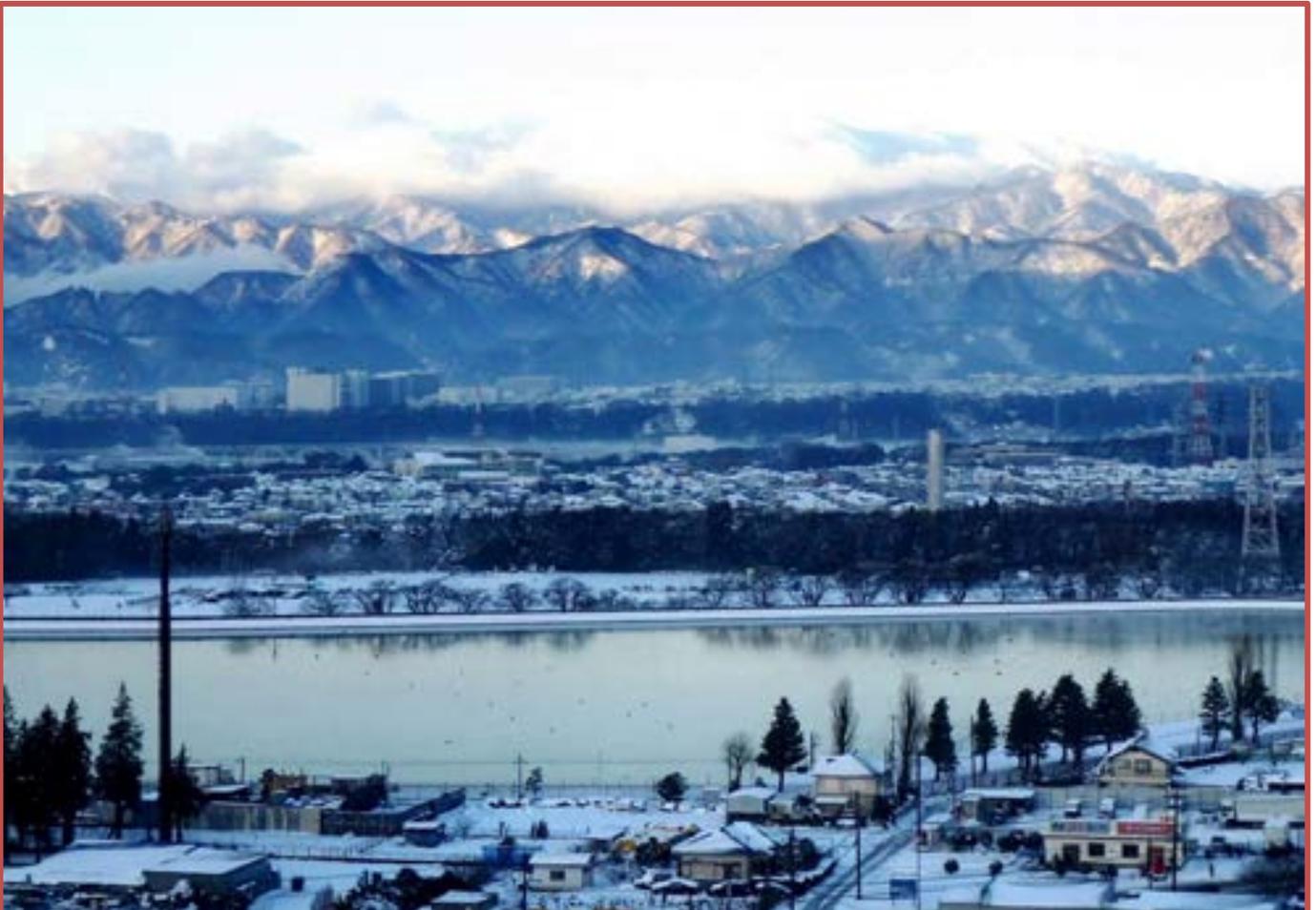
横浜での合同撮影会
より1か月前に行った
時も満月でした



六本木では 11月
からライトアップ



1/19 は大雪 北里大学病院の 14 階から大山他丹沢方面を望む



笹原虎夫のページ

身近な生き物



翡翠



ルリビタキ♂



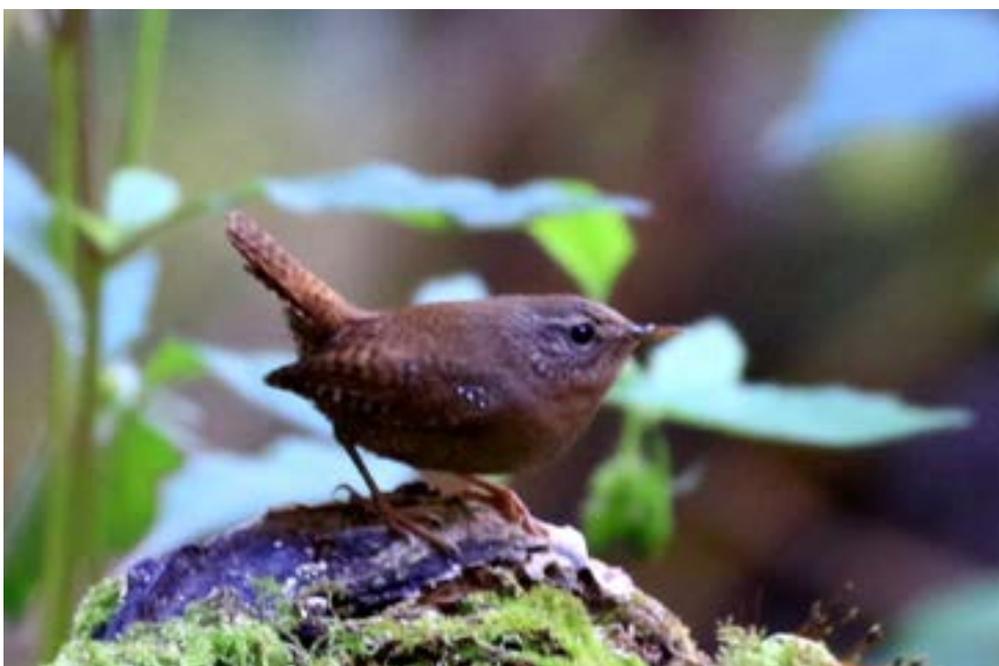
アオサギ



ジョウビタキ♂



ヤマガラ



ミソサザエ

大川のページ

雪景色の仏果山



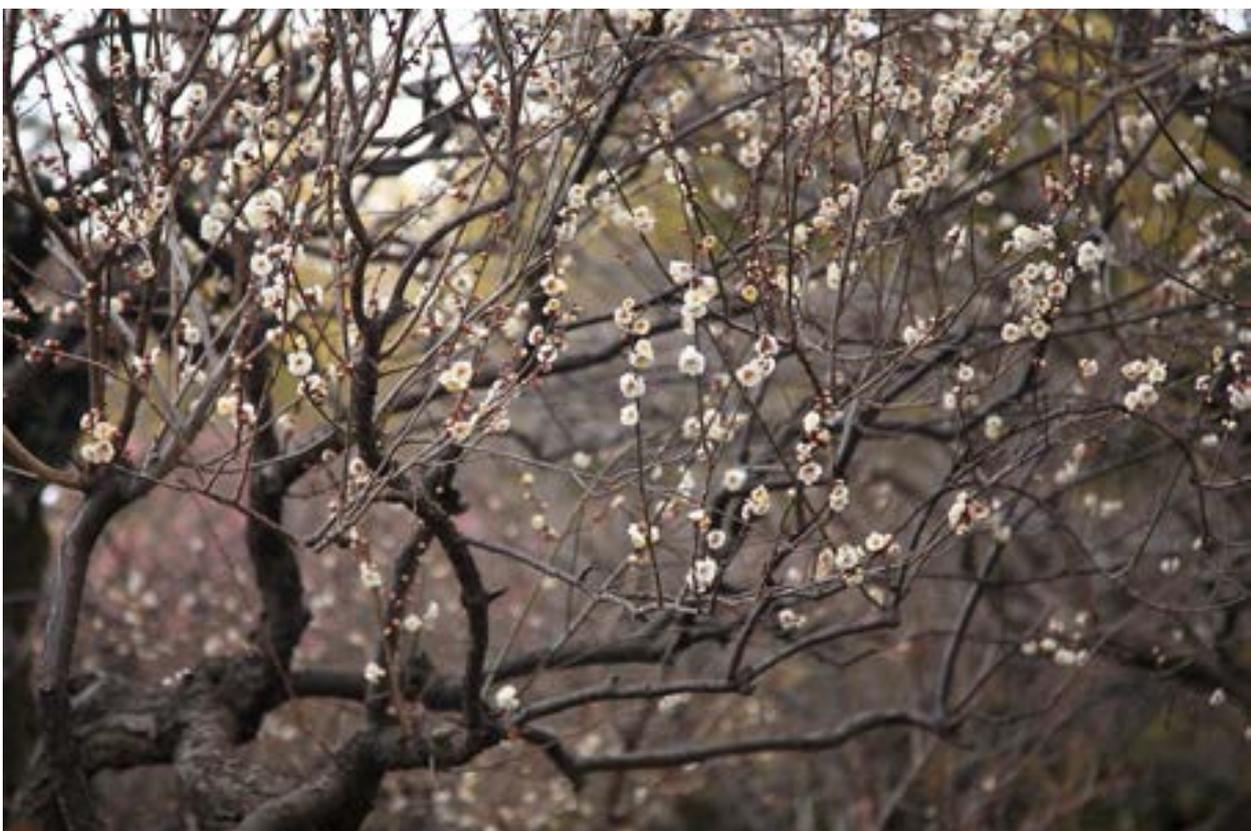
春の訪れを告げる野焼きと圏央道



鈴木義則 のページ

ぶらり深大寺公園と相模原公園の冬

深大寺公園北口にある池、冬景色を象徴していた



相模原公園ではモザイク模様
に張られた路面と冬枯れのメタセコ
イア並木が現代的な造形を示して
いる



上と同じ公園の一部、
置かれたオブジェも
現代的で面白い

公園内では春に向け
て植え付けられている
花が人々を待つ



吉川のページ

庭のロウバイがきれいです 春はそこまで来てます



雨後のロウバイ
蕾の子供が出来ました

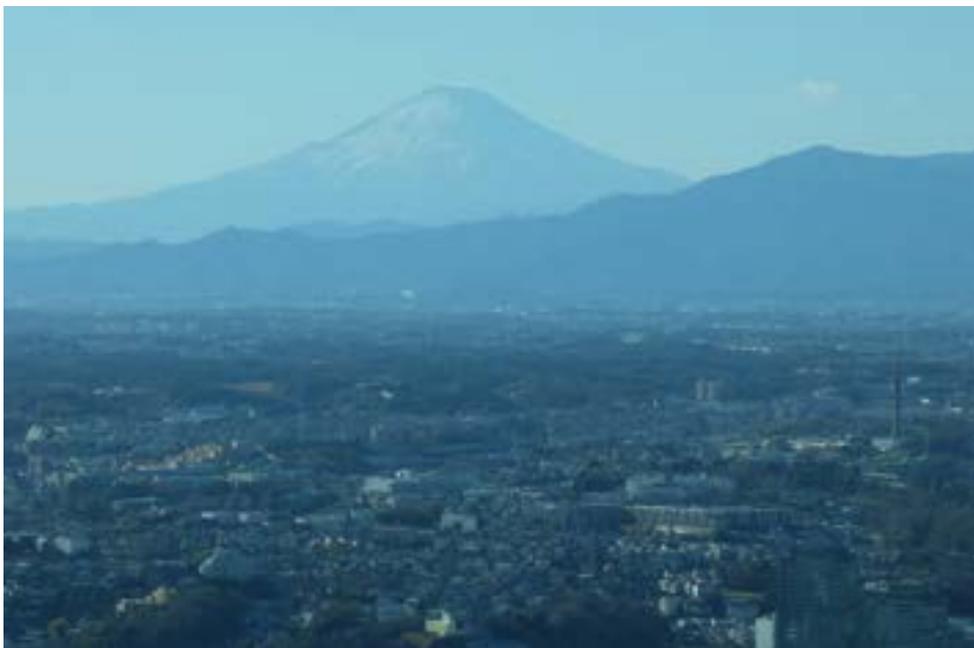


数年来の大雪に
ロウバイも
ビックリ

1月3日ランドマークタワー展望台より



連立するマンション群は壮観



富士山がかすかに見えました

鈴木瑠美子 のページ

身近の雪景色



夜に降り積もる
雪も一興



積もった雪の上で雀が餌探し
に余念がない

枝に残った雪が青空に映る

